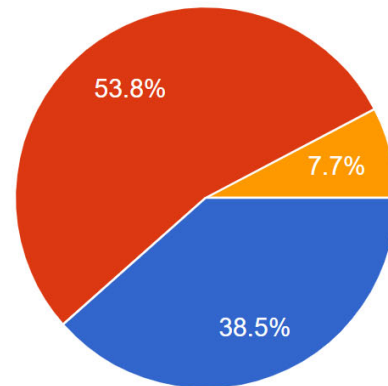


Q1：従前のような対面での研究会の開催について

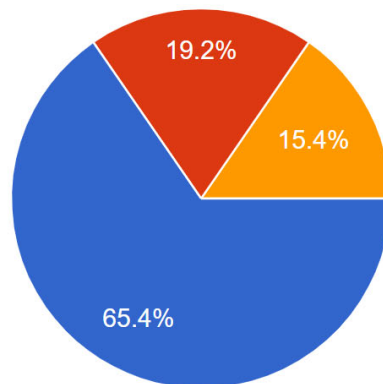
26 件の回答



- コロナ対策（消毒や密を避ける）をできるだけ実施して、従来のような形式が望ましい
- 対面での研究会の開催は当面避けたほうがいい
- わからない

Q2：オンラインでの研究会の開催について

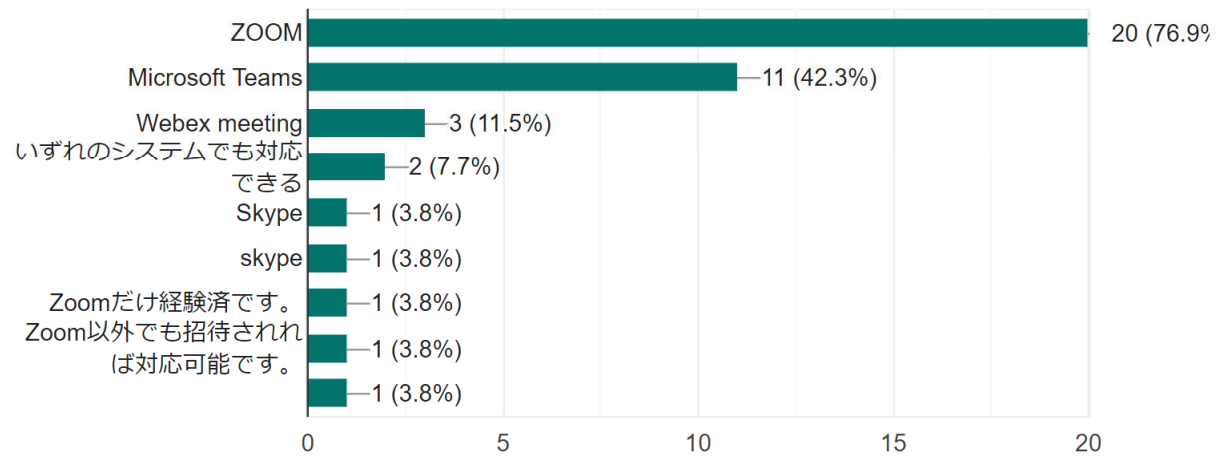
26 件の回答



- コロナ感染のリスクがある以上、オンラインでの開催が望ましい
- 講師との距離があるので、オンラインでの開催はあまり意味がない
- わからない

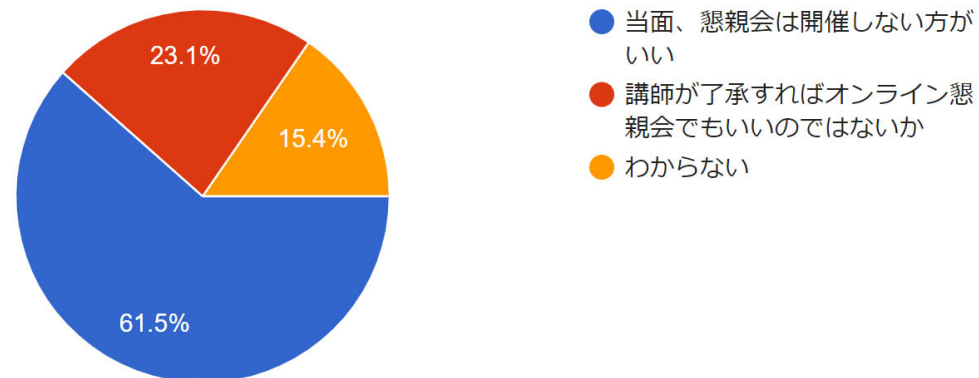
Q3：もしオンラインで研究会を開催する場合に使用する遠隔会議システムについて、どのシステムであれば対応可能ですか。（複数回答可）

26 件の回答



Q4：講師を交えた懇親会の開催について

26 件の回答



Q5：そのほか研究会の活動についてご意見があれば、ご自由にお書きください。【9 件の回答】

・貴会の検討会はさまざまな技術に触れることができる良い機会ですので、形式はどうあれ継続されることを希望します。私は懇親会も出ておりませんし、来場される方ともめったにお話ししませんので、オンライン開催でも構いません。また、オンラインの他、一定期間会員限定公開のビデオ講義等自由な時間に受講可能な形態もあり得ると思います。ただ、質問が分散するので講師の方の負荷は大きくなるのでご理解必要ですが。このような状況で継続すること自体が大変なことと思いますが、皆さんに実り多いものとなりますよう、陰ながら応援しております。

・従来の形式では、講師の先生も参加しがたいのではないのでしょうか。

・講演内容は30分ぐらいにしてテーマを絞って頂き、先生を交えたミーティング時間を増やすと話題が多面化してより楽しくなるかもしれません。

・遠隔地の会員も参加しやすくなるのではないのでしょうか。

・今回は試行になるのですが、今後、会場形式とミックスすると地方の先生方による講演も容易になるのではないのでしょうか。

・リスナーも増えるのではないのでしょうか。

・会場を広くする、講師との距離はとるなどの対応をした方が無難だと思います。

・Q1の従来形式でも適度な休憩などで、換気も行えると思います。

Q5：続き

・いつもありがとうございます。なかなか先の読みにくい状況になっているので、大変かと思います。もちろん対面がよいと思いますが、昨日今日のような状況になると、難しいのではないかと考えてしまいます。いろいろなところで、飲み会だけではなく、オンラインの総会や懇親会なども開催されているようですので、研究会もオンラインでやってみるといのは、あるのではないかと思いました。実験的に？最初はこういった形式に、慣れていらっしゃる講師の方をお願いする形でしょうか。また、現地開催+オンライン中継を混ぜるということもあるのかなと思いました。準備などの問題もありますので、そのあたりの負担が大きくなる範囲でという形にしていいただければと思います。よろしくお願いします。

参加者としては、従来形式+オンラインが理想的です。主催者は大変だと思いますが、、地方で勤務している、所用で会場に行けないなどのハードルをオンラインであれば解決出来ると思います。ただ、面識がなく、大勢でのオンライン懇親会は、つらそうです。講師の技術論を勉強しつつ、懇親会で交流を深めたり、色々な情報共有出来るのはすごくありがたいので、オンラインだけというのはもったいないと思います。また、従来形式とオンラインを交互に開催ということもあるのかもしれませんが。

Q1/Q2についてまとめますと、事務局のご負担が大きければ、どちらかになると思いますが、直接会場での参加もリモート参加も選択できるとうれしいです。コロナの影響というよりもどうしても工場を離れられない時がありますので、そのような時は会場に外出せずに、リモート参加したいと思っております。懇親会については賛成なのですが、三密を避けるため人数を絞る必要もあり、参加できない人がいると気の毒という意味から 懇親会開催しない を選びました。

これはお願いですが、講師によって聞き取りにくいことがあります。首掛けマイクのような機器使用、音量調整をお願いいたします。毎回の企画大変と思いますが宜しくお願いいたします。
木造の高層化研究の展望、現状、課題について